


## 資料5 共同研究者用のプラットフォームホームページ概要

平成 16-18 年は厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合 研究事業  
 保険・医療・福祉領域の電子カルテに必要な看護用品の標準化と事例整備に関する研究  
 (15150001)

このホームページは、研究費を結算より推進するために共同研究専用のプラットフォームとして開設しました。  
 最終的にこの研究により得られた成果を広く一般にも向する目的と合わせて持っています。



本研究の先行研究となるページへジャンプします。

本研究の先行研究となるページへジャンプします。

研究者プラットフォームへ (パスワードが必要です。)

【研究の背景と目的】  
 全国標準の看護関連マスターが存在しないため、電子カルテ等の導入が高コストになっている。電子カルテ導入を計画している病院では、それぞれ  
 の病院で看護関連マスターを準備しなければならないため、看護師の負担になっており、結局中後半端なマスターレベルに終わり、時間切れでそ  
 れらを使用せざるを得ない状況にある。そのため、看護の専門性を明確に示した電子記録が蓄積されにくい状況を作り出し、正当な評価が困難と  
 なり、電子カルテの価値が示しにくい状況を作り出している。  
 本研究では、患者への情報開示を促進し、病院のケアの質保証戦略・医療制度・医療資源に有用な知見を加工できる電子カルテをめざし、必要と  
 する看護関連マスターの研究開発を行う。

<研究組織>

水原 聡子	東京大学大学院工学系研究科 助教授
中西 聡子	国家医療福祉大学保健学部看護学科 教授
川村 佐和子	東京都立保健科学大学保健科学部看護学科 教授
宇部 由美子	鹿児島大学医学部保健学科 助教授
石垣 恭子	鳥根大学医学部看護学科 教授
坂本 すが	NIT 東日本関東病院 看護部長
村上 聡子	日本赤十字社医療センター
井上 真奈美	山口県立大学 看護学部
飯塚 功悦	東京大学大学院工学系研究科 教授
藤近 雅彦	早稲田大学理工学部経営システム工学科 教授

Microsoft Internet Explorer

アドレス http://plaza.ucc.ac.jp/rpl/

**【先行研究】**  
 水沼らの研究(平成 14-15 年度文部科学省研究助成金)によって、看護実践を専門的視点から見た場合のモデルフレームが、以下のように提示されている。  
 「スタンダードケア(基本看護実践)」については、平成 15 年度、厚生労働省が提示する電子カルテのための看護マスターの用語集の原案として、採用されている。  
 「プログラムドケア(高度専門看護実践)」の開発研究が必要とされている。

看護実践の標準化 ① 標準化された看護実践の提供 ② 標準化された看護実践の提供 ③ 標準化された看護実践の提供 ④ 標準化された看護実践の提供 ⑤ 標準化された看護実践の提供 ⑥ 標準化された看護実践の提供 ⑦ 標準化された看護実践の提供 ⑧ 標準化された看護実践の提供 ⑨ 標準化された看護実践の提供 ⑩ 標準化された看護実践の提供 ⑪ 標準化された看護実践の提供 ⑫ 標準化された看護実践の提供 ⑬ 標準化された看護実践の提供 ⑭ 標準化された看護実践の提供 ⑮ 標準化された看護実践の提供 ⑯ 標準化された看護実践の提供 ⑰ 標準化された看護実践の提供 ⑱ 標準化された看護実践の提供 ⑲ 標準化された看護実践の提供 ⑳ 標準化された看護実践の提供 ㉑ 標準化された看護実践の提供 ㉒ 標準化された看護実践の提供 ㉓ 標準化された看護実践の提供 ㉔ 標準化された看護実践の提供 ㉕ 標準化された看護実践の提供 ㉖ 標準化された看護実践の提供 ㉗ 標準化された看護実践の提供 ㉘ 標準化された看護実践の提供 ㉙ 標準化された看護実践の提供 ㉚ 標準化された看護実践の提供 ㉛ 標準化された看護実践の提供 ㉜ 標準化された看護実践の提供 ㉝ 標準化された看護実践の提供 ㉞ 標準化された看護実践の提供 ㉟ 標準化された看護実践の提供 ㊱ 標準化された看護実践の提供 ㊲ 標準化された看護実践の提供 ㊳ 標準化された看護実践の提供 ㊴ 標準化された看護実践の提供 ㊵ 標準化された看護実践の提供 ㊶ 標準化された看護実践の提供 ㊷ 標準化された看護実践の提供 ㊸ 標準化された看護実践の提供 ㊹ 標準化された看護実践の提供 ㊺ 標準化された看護実践の提供 ㊻ 標準化された看護実践の提供 ㊼ 標準化された看護実践の提供 ㊽ 標準化された看護実践の提供 ㊾ 標準化された看護実践の提供 ㊿ 標準化された看護実践の提供	看護実践の標準化 ① 標準化された看護実践の提供 ② 標準化された看護実践の提供 ③ 標準化された看護実践の提供 ④ 標準化された看護実践の提供 ⑤ 標準化された看護実践の提供 ⑥ 標準化された看護実践の提供 ⑦ 標準化された看護実践の提供 ⑧ 標準化された看護実践の提供 ⑨ 標準化された看護実践の提供 ⑩ 標準化された看護実践の提供 ⑪ 標準化された看護実践の提供 ⑫ 標準化された看護実践の提供 ⑬ 標準化された看護実践の提供 ⑭ 標準化された看護実践の提供 ⑮ 標準化された看護実践の提供 ⑯ 標準化された看護実践の提供 ⑰ 標準化された看護実践の提供 ⑱ 標準化された看護実践の提供 ⑲ 標準化された看護実践の提供 ⑳ 標準化された看護実践の提供 ㉑ 標準化された看護実践の提供 ㉒ 標準化された看護実践の提供 ㉓ 標準化された看護実践の提供 ㉔ 標準化された看護実践の提供 ㉕ 標準化された看護実践の提供 ㉖ 標準化された看護実践の提供 ㉗ 標準化された看護実践の提供 ㉘ 標準化された看護実践の提供 ㉙ 標準化された看護実践の提供 ㉚ 標準化された看護実践の提供 ㉛ 標準化された看護実践の提供 ㉜ 標準化された看護実践の提供 ㉝ 標準化された看護実践の提供 ㉞ 標準化された看護実践の提供 ㉟ 標準化された看護実践の提供 ㊱ 標準化された看護実践の提供 ㊲ 標準化された看護実践の提供 ㊳ 標準化された看護実践の提供 ㊴ 標準化された看護実践の提供 ㊵ 標準化された看護実践の提供 ㊶ 標準化された看護実践の提供 ㊷ 標準化された看護実践の提供 ㊸ 標準化された看護実践の提供 ㊹ 標準化された看護実践の提供 ㊺ 標準化された看護実践の提供 ㊻ 標準化された看護実践の提供 ㊼ 標準化された看護実践の提供 ㊽ 標準化された看護実践の提供 ㊾ 標準化された看護実践の提供 ㊿ 標準化された看護実践の提供
--	--

**【電子カルテの中で必要とする看護用語の種類】**  
 電子カルテの中の看護部分は、現実的な看護ケアサービス提供の過程を支援するものでなければならず、その過程で発生する情報は、看護のみでなく他部門・他職種が情報共有できるものもあり、チーム医療を促進するものであることが望ましい。医学と同様に看護の場合も、問題解決過程にそった以下の看護過程がある。これらの看護過程毎に必要なとする看護用語マスターを以下に整理した。  
 ① 患者情報の収集(看護アセスメントに必要な患者情報: 患者プロフィールマスター・患者観察マスター)  
 ② 看護アセスメント(看護の視点からとらえた患者の問題: 看護問題マスター)

Microsoft Internet Explorer

アドレス http://plaza.ucc.ac.jp/rpl/

**【電子カルテの中で必要とする看護用語の種類】**  
 電子カルテの中の看護部分は、現実的な看護ケアサービス提供の過程を支援するものでなければならず、その過程で発生する情報は、看護のみでなく他部門・他職種が情報共有できるものもあり、チーム医療を促進するものであることが望ましい。医学と同様に看護の場合も、問題解決過程にそった以下の看護過程がある。これらの看護過程毎に必要なとする看護用語マスターを以下に整理した。  
 ① 患者情報の収集(看護アセスメントに必要な患者情報: 患者プロフィールマスター・患者観察マスター)  
 ② 看護アセスメント(看護の視点からとらえた患者の問題: 看護問題マスター)  
 ③ 看護ケア計画の立案(看護問題に対する看護ケア計画: 看護計画マスター)  
 ④ 看護ケア実施(看護ケアオーダーの発行とその実施: 看護行為マスター)  
 ⑤ 評価(実践、看護の結果評価・プロセス評価・構造評価: 看護評価指標マスター)

**【本研究で開発する看護マスター】**  
 患者プロフィールマスター・患者観察マスター  
 ① (先行の水沼研究の中で、広島大学病院で開発・実践した。本研究ではこれをさらに整理・充実させる)  
 ② 看護問題マスター (新規に研究開発)  
 ③ 看護計画マスター (新規に研究開発)  
 ④ 看護行為マスター (既存の研究成果を基盤として、臨床現場での誤りのない利用が容易となるよう、必要とする周辺課題に対する対応法を研究開発する)  
 現在の臨床で必要度の高いプログラムドケアの研究開発  
 マスター内の看護行為名称と類義名称との対応表の研究開発 (シソーラス開発)

なお、看護評価指標マスターは、上記の①～④が整備され、電子カルテ上にデータ蓄積がなされたときに、看護評価指標の開発研究が容易になると考えられるため、今回の研究対象からは除外する。

Microsoft Internet Explorer

アドレス http://plaza.uken.ac.jp/np/

【研究計画概要と担当研究者】

平成 15-16 年度

研究計画名	担当者
患者プロフィールマスター・患者観察マスター	水濱
看護行為マスター	
現在の臨床で必要度の高いプログラムドゥアの研究開発	水濱・中西・川村・坂本・村上・井上
マスター内の看護行為名称と俗名称との対応表の研究開発	中西
看護問題マスター	宇都・石垣・水濱
既存の看護問題について、各病室で準備しているものを調査・分析する。	
看護問題に関する用語集の作成	
看護計画マスター	宇都・石垣・水濱
既存の看護計画について、各病室で準備しているものを調査・分析する	
看護計画のモデル集の作成	

【開発するプログラムドゥア】

◆一般◆

- 退院調整
- 高度なコーディネーション
- 高度先進医療に伴うケア
- クリティカルケア(ICU)
- クリティカルケア(CCU)

Microsoft Internet Explorer

アドレス http://plaza.uken.ac.jp/np/

【開発するプログラムドゥア】

◆一般◆

- 退院調整
- 高度なコーディネーション
- 高度先進医療に伴うケア
- クリティカルケア(ICU)
- クリティカルケア(CCU)
- クリティカルケア(NICU)
- 救命・救急看護
- モニタリングケア
- 疾患の自己管理教育プログラム
- 糖尿病管理教育プログラム
- ストマ管理教育プログラム
- 透析管理教育プログラム
- 摂食・嚥下教育プログラム
- 褥瘡予防治療教育プログラム
- ストーリーケア
- 褥瘡予防・治療

